

応募規定

応募規定を熟読のうえ、ご応募ください。
JPS展公式ホームページから応募作品目録のダウンロード・入力ができます。
https://www.jps.gr.jp/2022jpsten_ouboyoko/

テーマ

自由 *注意事項をよくお読みください。

応募資格

アマチュア、プロフェッショナル、年齢、性別、国籍を問いません。ただしJPS会員は除きます。

応募部門

- 一般部門：年齢を問いません
- 18歳以下部門：2003年4月1日以降生まれの方

応募プリント

用紙サイズはA4または六つ切 8×10インチ (203×254mm)に限る
カラー、モノクロ共プリントのみ(デジタル・銀塩を問いません)。デジタル加工も可。ただしデジタル加工・合成等の欄に印を入れること。作品は、必ず応募者本人が撮影したものであること。

出品点数

単写真=制限はありません。組写真=5枚までを1組の限度として何組でもかまいません。組写真は、左より順に並ぶように構成して番号をつけてください。ただし、写真同士を貼り付けないこと。また台紙にも貼らないで応募してください。

受付手数料

一般部門：1枚につき2,500円(組写真の場合も1枚2,500円)

18歳以下部門：1枚につき800円(組写真の場合も1枚800円)

郵便局より下記、郵便振替口座へ2022年1月15日までにお振込みください。お振込みがない場合は審査しません。

作品の中に受付手数料を同封することは、厳禁とします。

応募作品返却希望者は、返却料2,500円を加算してお振込みください。(応募作品の返却は6月下旬から7月上旬を予定しています。海外からの応募の場合は返却できません)

郵便振替 口座番号：00110-5-651936

口座名称(漢字)：日本写真家協会JPS展

*通信欄に応募部門、応募合計枚数、応募者の郵便番号、住所、氏名、氏名フリガナ、電話番号を必ずご記入ください。

*氏名には必ずフリガナをふってください。

受付及び締切

2021年11月10日(水)～2022年1月15日(土)まで。

郵送または宅配便に限り。直接持参されても受付いたしません。最終日消印有効。

審査員

野町和嘉(審査員長)、石川梵、織作峰子、佐藤時啓、菅原隆治(「CAPA」編集長)(予定)

審査結果

3月中旬頃、応募者全員に文書にて通知。また、ホームページ(<https://www.jps.gr.jp>)とメールマガジンでも発表します(電話でのお答えはいたしません)。

展示用作品

入賞・入選作品は、後日指定する期日までに各自で指定サイズに引伸し、再提出していただきます。その際には作品の原板・データが必要になりますので、必ず保存しておいてください。文部科学大臣賞、知事賞(仮称)、金・銀・銅賞作品については大型サイズになる場合があります。

展示及びパネル製作費

入賞・入選作品は当協会特注パネルにて展示しますので、一般部門は1枚につき10,000円、18歳以下部門は1枚につき5,000円を指定の日時までに納入していただきます。応募者の申し出による入賞・入選の辞退はできません。応募規定違反など何らかの事由により入賞・入選取り消しとなった場合には、違約金として5,000円を申し受けます。やむを得ない事情により展覧会が催行できない場合には、ホームページ上での展示及び公開とし、パネルは後日着払いの宅配便で返送します。製作費の返金はいたしません。ご了承のうえご応募ください。

図録

第47回2022JPS展図録の刊行を予定しています。図録の原稿には応募作品を使用します。

- 氏名、住所、題名、フリガナ等は、わかりやすく楷書でお書きください。
- 組写真の場合、作品目録の題名は、1組につき1行で書いてください。写真の枚数分題名を書く必要はありません。
- 作品目録は、必ず本人控用のコピーを保存しておいてください。
- 応募票が不足する場合は、コピーし、また作品番号を修正してご使用ください。

賞

●一般部門

文部科学大臣賞	1名(賞状・盾・賞金60万円・副賞)
知事賞(仮称)	1名(賞状・盾・賞金30万円・副賞)
金賞	1名(賞状・盾・賞金10万円・副賞)
銀賞	2名(賞状・盾・記念品・副賞)
銅賞	3名(賞状・盾・記念品・副賞)
奨励賞	5名(賞状・盾・記念品・副賞)
優秀賞	20名程度(賞状・記念品・副賞)
入選	150名程度(賞状・記念品)

●18歳以下部門

最優秀賞	1名(賞状・盾・副賞)
優秀賞	10名程度(賞状・記念品・副賞)
入選	20名程度(賞状・記念品)

展示会場・会期

東京都写真美術館 2022年5月21日～5月29日(予定)

京都市美術館別館 2022年6月21日～6月26日(予定)

*やむを得ない事情により展覧会が催行できない場合には、ホームページ上での展示及び公開に変更いたします。

注意事項

1. 原則として未発表作品に限ります。商用利用(販売・ストックフォト)された作品は応募できません。過去にコンテスト等で入賞・入選した作品及びそれらに類似した作品(同じ対象を同じような条件で同じ時期に撮影した作品)は応募できません。また、現在コンテスト等に応募し結果が判明していない作品も応募できません。
2. 被写体の肖像権、著作権には十分にご注意ください。スナップ等で人物を撮影された場合には、コンテスト応募の承諾を得てください。
3. すべての応募作品の著作権は撮影者に帰属します。ただし、入賞・入選作品は巡回展終了までの間に当該作品を他に使用する場合、当協会の許諾を得てください。
4. 入賞・入選作品は、審査結果発表後、優先的に当展の広報宣伝等の目的範囲内で雑誌その他に使用することがあります。
5. 応募作品の返却を希望される方は、受付手数料納入の際、返却料2,500円(枚数に関係なく)を加算してお振込み下さい。※海外からの応募の場合は返却不可となります。返却は6月下旬から7月上旬を予定しています。
6. 入賞・入選の展示作品は展覧会終了後、着払いの宅配便で返送します。
7. 作品受理以前の事故、破損につきましては、その責任を負いかねます。作品は慎重に取り扱いますが、輸送途中の不可抗力による事故等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
8. 受付手数料、パネル製作費はいかなる場合でも返金いたしません。
9. 応募者は応募規定、注意事項を全て了承したものとみなし、違反した場合には入賞・入選は取り消しとなり違約金として5,000円を申し受けます。応募作品到着後における応募、入賞・入選及び展示の辞退はできません。また、過去に規定違反のあった方の受付はお断りすることがあります。
10. 応募者の個人情報の利用は今回のJPS展と今後の応募のご案内などの範囲とし、管理を慎重にいたします。
11. 18歳以下部門に応募された方が入賞・入選された場合は、年齢確認の資料を提出していただきます。

- JPS展の最新情報をお届けするメールマガジンを配信しております。
(<https://www.jps.gr.jp/jps-ten-magazine/>)
- 応募後、住所変更等がある場合はお知らせください。
- 応募に関するよくある質問 https://www.jps.gr.jp/jpsten_faq/

第47回2022 JPS展 作品目録

応募規定、注意事項を了承の上、下記の作品を応募します。

応募部門
(○をつける)

一般

18歳
以下

この作品目録を必ず作品に同封してください

フリガナ (氏)	(名)	年齢	〒	-
作者	男 女	職業	フリガナ	
学校名		住所 都・道 府・県		

*学校単位で応募の場合、学校名と担当者名を記入（住所欄は学校の住所を記入）

作品番号	フリガナ	題名	分類
1	フリガナ		単 枚組
2	フリガナ		単 枚組
3	フリガナ		単 枚組
4	フリガナ		単 枚組
5	フリガナ		単 枚組

電話

携帯電話

FAX

Email

(チェックボックスに を入れる)

応募経験 あり なし

応募作品の返却 (料金2,500円必要)

希望 する しない

合計枚数 E

枚

第47回 2022JPS展 応募票 (写真1枚に1枚貼付)

第47回 2022JPS展 応募票 (写真1枚に1枚貼付)

氏名

この部分より上は写真の下にかくれるように貼って下さい

フリガナ

題名

作品番号

デジタル フィルム デジタル加工・合成等 (有) 単写真 組写真 枚組の番

事務局記入欄

氏名

この部分より上は写真の下にかくれるように貼って下さい

フリガナ

題名

作品番号

デジタル フィルム デジタル加工・合成等 (有) 単写真 組写真 枚組の番

事務局記入欄

第47回 2022JPS展 応募票 (写真1枚に1枚貼付)

第47回 2022JPS展 応募票 (写真1枚に1枚貼付)

氏名

この部分より上は写真の下にかくれるように貼って下さい

フリガナ

題名

作品番号

デジタル フィルム デジタル加工・合成等 (有) 単写真 組写真 枚組の番

事務局記入欄

氏名

この部分より上は写真の下にかくれるように貼って下さい

フリガナ

題名

作品番号

デジタル フィルム デジタル加工・合成等 (有) 単写真 組写真 枚組の番

事務局記入欄

キリトリせん ✂

※このラベルは必ず封筒に貼付けて下さい

〒102-0082
東京都千代田区一番町25番地JCIIビル303
公益社団法人日本写真家協会 (JPS)
第47回 2022JPS展 御中

応募部門 一般 18歳以下 作品返却希望 する しない

○をつけて下さい

写真在中 禁二つ折

第47回 2022JPS展 応募票 (写真1枚に1枚貼付)

氏名

この部分より上は写真の下にかくれるように貼って下さい

フリガナ

題名

作品番号

デジタル フィルム デジタル加工・合成等 (有) 単写真 組写真 枚組の番

事務局記入欄

審査員プロフィール

野町和嘉(のまちかずよし)

高知県生まれ。杵島隆に師事した後、1971年にフリーの写真家となる。1972年、20代半ばでサハラ砂漠に旅したことが契機となってアフリカを広く取材。極限の風土を生きる人々の精神世界、信仰をテーマに中国、チベット、サウジアラビア等で長期取材を続け、さらに2000年代以降は、アンデス、インド、イラン等を中心に取材を続けている。土門拳賞、紫綬褒章受章。公益社団法人日本写真家協会会長。

石川梵(いしかわぼん)

写真家・映画監督。1960年生まれ、大分県出身。大自然と人間の共生をテーマに日本をはじめ世界各地で撮影。写真集『海人』(新潮社)『伊勢神宮 遷宮とその秘儀』(朝日新聞社)『The Days After 東日本大震災の記憶』(飛鳥新社)著書に『鯨人』(集英社)『時の海、人の大地』(魁星出版)他多数。映画『世界でいちばん美しい村』(2017)『くじらびと』(2021)監督。写真協会新人賞、作家賞、講談社出版文化賞他受賞。

織作峰子(おりさくみねこ)

石川県出身。ミスユニバース任期中に写真家・大竹省二と出会い、翌1982年に大竹スタジオに入門。87年独立。世界各地で写真展を開催する傍ら、テレビ出演や講演で幅広く活躍中。大阪芸術大学教授 写真学科学科長。APA理事。JPCA理事。JPS正会員。日本写真芸術学会評議員。

佐藤時啓(さととうときひろ)

1957年山形県酒田市生まれ。1983年東京芸術大学大学院美術研究科修了。長時間露光により風景や物事の間に光を影り込んでいくような作品や、最近ではMagic Lanternをテーマにしたシリーズなどの制作を行っている。シカゴ美術館(2005)、Frist Center for the Visual Arts USA (2010)、東京都写真美術館(2014)、PIET HEIN EEK Netherlands (2016)(2019)などで個展を開催。第6回東川賞新人作家賞受賞。第65回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。第31回東川賞国内作家賞受賞。

菅原隆治(すがわらりゅうじ)

『CAPA』編集長。1966年、東京都生まれ。88年より学習研究社発行のカメラ&写真情報誌『CAPA』編集に携わる。本誌のほかカメラ関連ムックや書籍の編集、撮影セミナー・イベントを企画開催。1995年より風景写真雑誌『四季の写真』の編集を手がけ、2002年に編集長。2005年より『CAPA』副編集長を経て2012年4月より現職。電子版やウェブサイトでの情報発信などの媒体展開も合わせ、カメラ・写真愛好家の拡大に努めている。



〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地JCIIビル303
TEL 03-3265-7453 FAX 03-3265-7460
展覧会についての問い合わせは下記時間をお願いします。
平日 13:00~17:00 (土、日、祝日、年末年始は休み)



JPS展公式
ホームページ

応募作品のプリントは当店で

第47回

JPS展

2022 the 47th Exhibition of the JPS

2022

日本写真家協会
写真公募展

作品 募集

2021

2022

受付
期間

11.10 — 1.15

最終日
消印有効

用紙
サイズ

A4または六つ切

応募先

公益社団法人日本写真家協会 第47回2022 JPS展
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地JCIIビル303
TEL 03-3265-7453 FAX 03-3265-7460

公益社団法人

日本写真家協会 www.jps.gr.jp

〔主催〕

〔共催〕

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館
文化庁

〔後援〕

副賞提供社 (前年度 五十音順)

株式会社 アイテム
株式会社アスカネット
株式会社アマナ
株式会社 市川ソフトラボラトリー
ヴァイテックイメージング株式会社
ウエスタンデジタル合同会社
株式会社 栄光舎
エフソン販売株式会社
OM デジタルソリューションズ株式会社
株式会社ガードフォースジャパン
株式会社 キタムラ
キャンノンマーケティングジャパン株式会社
清里フォトアートミュージアム
株式会社 クレヴィス
グローバルソリューションサービス株式会社
株式会社 ケンコー・トキナー
株式会社 玄光社
株式会社 宏栄
サイバーグラフィックス株式会社
株式会社 Sakura Sling project
株式会社 シグマ
株式会社 写真弘社
写真文化首都 北海道「写真の町」東川町
スリック株式会社

株式会社 セコニック
株式会社ソフトウェア・トゥー
ソニー株式会社
ダイヤミック株式会社
株式会社 タムロン
デジタルカメラグランプリ事務局
凸版印刷株式会社
株式会社 ニコンイメージングジャパン
株式会社 日経ナショナル ジオグラフィック
一般財団法人 日本カメラ財団
株式会社 日本写真企画
ハクバ写真産業株式会社
株式会社 風景写真出版
富士フイルムイメージングシステムズ株式会社
株式会社 フレームマン
プロフォト株式会社
株式会社 堀内カラー
三菱製紙株式会社
光村印刷株式会社
ライカカメラジャパン株式会社
リコーイメージング株式会社
レッドレンザージャパン株式会社
株式会社ワン・パブリッシング (『CAPA』編集部)

応募票の貼り方 *下のイラストを参照して下さい

- セロハンテープを使用して下さい。両面テープや糊は絶対に使用しないで下さい。
- 作品の天地がわかるように、作品(プリント)下側に貼って下さい。
- 応募票は作品の裏側から貼って下さい。
- 氏名部分は隠れるようにします。ただし題名は見えるようにして下さい。



- 作品受付は郵送または宅配便に限ります。(持ち込み不可)
- 応募作品は、希望者には返却します。(返却料 2,500円)
(作品は慎重に取り扱いますが、傷む場合がありますのでご了承ください)

応募に関するよくある質問

